

分譲地に家が建ちはじめた芳賀住宅団地。背後には赤城山、前面には遠く市街地が一望できる

「緑と太陽の団地」めざす……

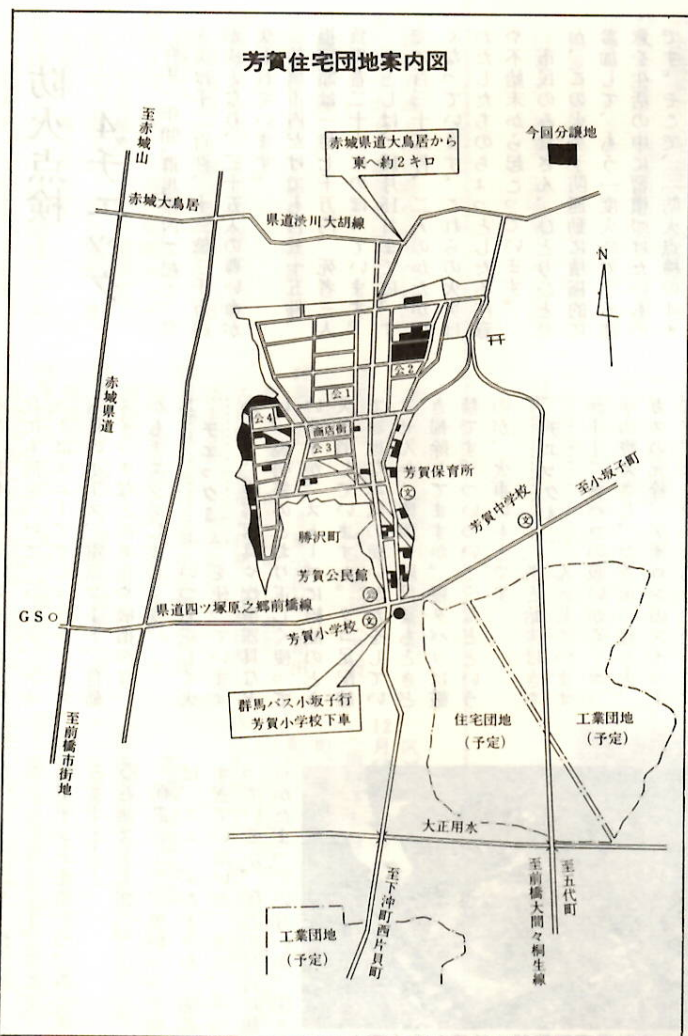
芳賀住宅団地を分譲

上・下水道・ガス完備94区画

赤城山麓、松の緑をはるか背にした、なだらかな丘陵地。遠く市街地を一望に、太陽と緑の住宅地をめざす芳賀住宅団地——。前橋工業団地造成組合が造成、昨年第一回分譲、今回は三回目、九十四区画を分譲します。希望のかたは現地をご覧のうえ、お申込みを。



○ として保存しておいてください いくつかまた お役にたつことと思います ○



分譲地のあらまし

- ①所在地 勝沢町・小坂子町・嶺町にひろがった地域。
- ②交通機関 前橋駅から小坂子行群馬バスに乗って、芳賀小学校前下車。前橋駅からバスで約二十分。
- ③今回分譲区画数 総区画四百

分譲代の支払方法

- ①即金払いの場合は、分譲契約締結のときに全額払い。②割賦払いの場合は、分譲契約締結ときに

申込者の資格

- 四十区画のうち、九十四区画。
- ④宅地面積 一六四・二二一四二五・四一平方メートル。
- ⑤分譲価格 一平方メートル当り一万五千円〜二万二千円。
- ⑥施設 市の上水道、下水道、都市ガス完備。道路はアスファルト舗装(幅員4〜12メートル)。
- 芳賀小学校、芳賀中学校まで徒歩約七分。団地内に商店街も予定されています。

申込期間

分譲案内・申込用紙の頒布

11月20日から28日まで。

申込受付

11月26日から28日まで三日間。

平日は午前8時30分から午後5時

時まで、土曜日は正午まで。市役所新館三階第二委員会室で。

〇くわしくは市役所工業課(電話24局一〇一内線二〇七・二八

一)へお問い合わせください。



芳賀団地内の市営住宅

広報手帳

〇郵便局から山王町、天川町、西善町、朝倉町、後閑町の一部が、都市計画によって番地整理が実施される予定ですが、郵便を出される場合は、新番地施行までは、今までどおりの番地のご使用を。とくに年内に新番地を使用いたしますと、年賀郵便物の取扱いに混乱が生じますので、ご注意ください。(前橋郵便局)

〇所得税2期分の納税は12月1日

まで 所得税の予定納税額については、6月中旬に税務署から通知

され、2期分納付書も同封されています。納期限は11月1日から12

月1日までの1か月間です。最寄りの銀行、郵便局でどうぞ。納付

書は2期分として改めてお送りし

ませんから、紛失のかたは銀行、郵便局窓口にて備えつけのものをお

使いください。(前橋税務署)

〇11月には個人事業税の納期月 個人

の事業税は、個人で事業を営んで

いるかたに納めていただく県税で

すが、11月は、その第2期分の納

税月。お手もとに納付書がとど

きましたら、お忘れなく期限内に

金融機関か財務事務所の窓口で。

〇11月の交通事故出張相談 11月

21日午前10時から午後3時まで前

三百貨店(七階)で。交通事故に

あ、賠償、更生、保険のことな

どでお困りのかたはぜひ——。

〇15日から狩猟解禁 11月15日

から15日間おそく、きょう15

日から狩猟が解禁。狩猟期間は2

月15日まで。狩猟は「日の出」か

ら「日没」まで、鳥獣の捕獲禁止

場所は①鳥獣保護区、休猟区②道

路や人家の近く③公園など④社寺

境内、墓地⑤自動車、電車、その他

入畜に弾丸が達する恐れがある

ところ⑥農作物のあるところ、開

いのあるところは無断で出入りし

ないなど——。毎年、狩猟事故も

跡を立たないところから、安全確

を怠りなく。

〇国鉄上越線三子山踏切が一時通

行止めに 総社町地内、上越線三

子山踏切道整備のため、11月20

日午前10時から12月15日午後3時

まで、全面通行止となり。ご不

便ですが、踏切拡幅工事のため

必要な工事ですので、ご了承ください。(高崎鉄道管理局)

火災シーズンです

火の元にご注意を



全国火災予防運動を呼びかけるポスター

上越の山々が白くなると、前橋では、寒い、からっ風が吹きはじめ、いよいよ火災シーズンの到来です。どこの家でも、暖房器具をはじめ、火を使う機会が多くなるのも、この頃から。この火災シーズン、を前に、26日から12月2日まで、全国いっせいに実施される「秋の火災予防運動」――。ことしの統一標語は「幸せを明日につなぐ火の始末」。これから火災多発期を迎え、ひとりひとりの防火意識の向上と、火災の発生防止、人命損傷事故の絶滅を目的としています。この機会に、市民ひとりひとりが、わが家・わが職場の防火点検を行い、火事にあわないよう、火事を起こさないようにしたいものです。

防火点検

4チェック

昨年一年間、群馬県内で起こった火災は千二百件、十三億三千万円が灰となり、三十五人の尊い命が失われています。前橋市だけでも百五十五件、損害額は一億七千万円、死者三人、負傷者二十人にのぼっています。ことは、10月15日までに、すでに百三十二件、二人のかたが亡くなっています。これらの火災はわたしたちのちょっとした不注意や不始末から起こっています。市民のみなさん、ひとりひとりが、この火災予防運動に積極的に参加して、もう一度火に対する注意を生活の中に習慣づけたらいいのです。そこで、「防火点検の4チェック」を――。

チェック1

火を使う場所の近くに、燃えやすいものはありますか。たとえば、ストーブをカーテンやファスマの近くで使っていないですか。ガスコンロが、板壁に近づきすぎてはいませんか。もう一度、おたの身のまわりの点検を……。火を使う器具に故障はありませんか。暖房器具は具合よく燃えているか。暖房器具は具合よく燃えているか。

万に備えて

二階に寝ていて、万が一火事というとき、あなたはどうしますか。階段は使えない、煙はひどい、子どもやとしより、病人はどうする。家族みんな、とっさのときの避難場所、避難の方法などについて話し合っておきたいものです。多数の人が集まる場所、たとえばデパート、病院、映画館、旅館などでは、火災が起きると大惨事につながりかねません。あなたは、避難口がわかりますか。安全に避難できますか。また、こうしたところにお勤めのかたがたは、お客の安全を守るために、ふだんから訓練をしたり、とっさのときの心がまえができています。避難階段に荷物や山積みされていたら、大変です。さあ、もう一度、あなたの身近な総点検をしてみましょう。



自動温度調節器の故障から火事となった電気コタツ

だいたいどうぶ？ 使う前の点検もおこたりにくく……。そこで、点検のポイントをおたつ、みつあててみます。①ストーブ。②石油ストーブ。③石油の上下、燃料コックの作動は、スムーズかどうか。④芯は出すぎているか、また、平らになっているか。⑤芯の付近に綿ぼこりがたまっているか。⑥タンク

すぐはずれたりしないか。②ガス漏れの危険、油漏れの危険はないか。③送風機の吸込口部分に綿ぼこりがたまっているか。④セントラルヒーティング。これは自動温度調節など機械が複雑ですので、使いはじめる前に必ず専門業者の点検が必要です。⑤灯油（石油）などの貯蔵。①灯油は階段下や出入口近くには置かない。②五百リットル未満の灯油をドラム缶で貯蔵する場合は、周囲に1メートル以上の空地が必要。この場合「少量危険物貯蔵所」の標識を見やすい場所につける。標識は、タテ三〇センチ、ヨコ六〇センチ、地色は白で黒字で品名（灯油）最大数量（〇リットル）とヨコ書きで。個人の住居以外での貯蔵には、届け出が必要。③不明の点は、消防本部予防課（電話24局三二一）へ。

都市ガス安全強調月間

ガスは正しく使いましう

都市ガスは便利で安全な燃料といわれていますが、使い方を誤ったり、故障やヒビ割れホースなどで、中毒や火災などの原因にもなりかねません。この機会に、ガスの正しい使い方の再確認を――。▽：ガス器具はガスにあったものを使うことがまず先決。ガス器具には「プロパンガス用」と「都市ガス用」の別があり、それぞれ構造が違います。また、同じ都市ガスでも、都市によって異なり、前橋市の場合「12A」の銘板記入のあるものが使用できます。▽：ガス管は三メートル以内が安全です。ガス管が長すぎると、踏んだり、ガスの圧力が下がったり、燃え方が悪くなったりで危険です。ガス管はガス管に合ったものをしっかりと差し込み、ホースバンドを必ずつけることが大切。管の寿命は二、三年です。使っていないガス栓は、ゴムキャップをするのも大切です。ビニールホースは弾力性がなく、はずれやすいので使わないほうがよいでしょう。▽：点検はゆっくりと確実に。最近のガス器具は、圧電式の自動点火です。点火を確認する習慣をつけましょう。マッチ点火の場合は、マッチをすってからコックを開けてください。

火災予防運動中の

市の主な行事

11月25日（火）午前9時から、西友デパートビル総合消防訓練。
11月26日（水）午前6時消防職員・団員非常召集訓練。午前10時消防協力者の表彰を消防本部で。早期発見・通報・消火協力などで、横田憲司（城東町三丁目）古沢正利（山王町）井上ヒサ（日吉町四丁目）松井広次（本町一丁目）

天野千歳（荻窪町）土屋利幸（大胡町堀越）植栗和夫（荒牧町）横堀幸夫（亀泉町）さん、人命救助で川上隆三（国領町二丁目）さんを表彰。

午前10時防火推進地区の平和町・住吉町・紅雲町一・二丁目を防火パレード。消防団員による一般家庭防火巡視。

11月27日（木）午前10時灯油など違法貯蔵の指導（27日・28日）午後1時30分火災予防街頭広報（中央通りアーケード街）

11月28日（金）午前9時30分天川大島町倉庫消防訓練。火災予防枯草パト



はしご車を使っての高層建物の救助訓練にも熱がはいります。

点検のポイント

お宅の暖房器具はだいじょうぶ？ 11月もなかば……。暖房器具を使う機会が多く、火事の危険も多くなるこのころ。おたの器具は

安全に避難できますか。また、こうしたところにお勤めのかたがたは、お客の安全を守るために、ふだんから訓練をしたり、とっさのときの心がまえができています。避難階段に荷物や山積みされていたら、大変です。さあ、もう一度、あなたの身近な総点検をしてみましょう。

電気ストーブ、電気コタツ

①コードに、いたみはないかどうか。②差し込みプラグ、スイッチ、温度調節部分に破損やネジのゆるみはないか。また、この部分が熱くならないか。③自動温度調節部、熱源の付近に綿ぼこりがついていないか。④温度ヒューズに針金など使っていないか。⑤電気アンカ、電気毛布

①コード、差し込みプラグは、いたんでいないか。②パイロットランプはつくか。③温度調節の強・弱は具合よく作動するか。④毛布の中の配線に断線はないか。⑤FF方式（給排気方式）のガスまたは石油暖房器具

①給排気筒がつまっていたり、

市の消防団

14分団、43部
1,100人の精鋭

消防団は、消防本部・消防署とともに、「市民の生命・財産を火災や水害から守る」ため、ボランティアの消防団員をもって組織されている非常勤の消防機関です。市では、昭和43年4月1日から従来の1団、17ヶ分団、団員千六百六十五人の消防団を、1団、4ヶ分団、14ヶ分団、43ヶ部、団員千十人に再編成しました。

消防団本部
団長1・副団長4人
第1方面団（旧市域）
方面団長（副団長）1人

第1分団（2ヶ部）
分団長以下42人で編成。
第2分団（2ヶ部）
分団長以下42人で編成。
第3分団（2ヶ部）
分団長以下42人で編成。
第4分団（3ヶ部）
分団長以下70人で編成。
第5分団（2ヶ部）

第6分団（2ヶ部）
分団長以下50人で編成。
第7分団（2ヶ部）
分団長以下50人で編成。
第8分団（3ヶ部）
分団長以下75人で編成。
第9分団（6ヶ部）
分団長以下120人で編成。
第10分団（4ヶ部）

第11分団（2ヶ部）
分団長以下50人で編成。
第12分団（3ヶ部）
分団長以下75人で編成。
第13分団（3ヶ部）
分団長以下70人で編成。
第14分団（7ヶ部）
分団長以下175人で編成。

消防活動では、オレンジ色の制服に身をまとった救助隊は、火災、交通事故、労災事故などの災害から、特に人命を救うための訓練を重点に行っています。人命救助は一刻をあらわします。非常の際のために、体力、気力、技術のすべてを養わなければなりません。人命救助の道具として、救助マット、油圧救助器具、エンジンカッター、ガス溶断器などが備えられています。

市消防は、消防長以下職員百八十七人、消防団員千十人で構成されています。



通信指令室は常に緊張の連続！



1日平均七・五件の救急事故。

ねたきり老人の火災予防訪問。

消防活動では、オレンジ色の制服に身をまとった救助隊は、火災、交通事故、労災事故などの災害から、特に人命を救うための訓練を重点に行っています。人命救助は一刻をあらわします。非常の際のために、体力、気力、技術のすべてを養わなければなりません。人命救助の道具として、救助マット、油圧救助器具、エンジンカッター、ガス溶断器などが備えられています。

市民の守り 前橋の消防

けたたしいサイレンの音をひびかせて走り去る消防車。複雑な人生のドラマを、ピーポーにこめてゆく救急車。前橋のどこかで、今日も起っている火災や事故。市民の生命と財産を守るために、日夜たゆみなく出動している消防活動の一端をのぞいてみると……。

消防行政等の消防事務を合理的に能率的に処理するため、管理部門としてあるのが消防本部。本部には消防長の下に消防次長がおり、総務、予防、警防の三課と通信室が置かれています。

また、火災消火、救急業務を主体の消防署があり、消防長の下に消防署長、そして中央、東、西、赤坂の四分署が置かれています。

このほか、通信指令室は警察や東電など、関係機関への通報や連絡を行います。さらに電話による市民のみなさんからの消防相談

もも行っています。消防本部は、消防長の下に消防次長がおり、総務、予防、警防の三課と通信室が置かれています。

また、建物に対する立入検査、防火の指導、消防相談を行うほか、特に人命・危険が予想される高層建物の消防隊進入場所、人命救助の方法などの計画をつくることも重要な仕事です。

火災現場での消防隊は「1に人命、2に延焼を防ぐ、3に火を消す、4に財産をまもる」という鉄則のもとに、消火活動につとめています。

救急活動では、救急車は、市内のどこへでも、いつでも出動できる体制をそなえています。救急出動は毎年百件ずつ増加、昨年は二千七百五十五回、一日平均七・五件の割合です。

救急車は、ことし四月一日から中央分署二台、東分署、西分署、赤坂分署に各一台を配置、すべて通信指令室の指令で出動します。救急車が要請できるのは、①地震、火災、大水などの災害によるケガ、病気の②交通事故のケガ③映画館、デパートなどの人の集まる場所での急病人④行倒れの人で病院に運ぶ必要があるとき⑤早く病院に運ばなければ生命に危険があるとき⑥められるとき⑦などです。家庭や職場で急病人やケガ人が出たとき、その人が早く処置する必要があるか、自家用車で運ぶ



消火活動は一刻をあらそう！

出火原因の究明も大切な仕事のひとつ。

救急活動では、救急車は、市内のどこへでも、いつでも出動できる体制をそなえています。救急出動は毎年百件ずつ増加、昨年は二千七百五十五回、一日平均七・五件の割合です。

救急車は、ことし四月一日から中央分署二台、東分署、西分署、赤坂分署に各一台を配置、すべて通信指令室の指令で出動します。救急車が要請できるのは、①地震、火災、大水などの災害によるケガ、病気の②交通事故のケガ③映画館、デパートなどの人の集まる場所での急病人④行倒れの人で病院に運ぶ必要があるとき⑤早く病院に運ばなければ生命に危険があるとき⑥められるとき⑦などです。家庭や職場で急病人やケガ人が出たとき、その人が早く処置する必要があるか、自家用車で運ぶ

救急車は、ことし四月一日から中央分署二台、東分署、西分署、赤坂分署に各一台を配置、すべて通信指令室の指令で出動します。救急車が要請できるのは、①地震、火災、大水などの災害によるケガ、病気の②交通事故のケガ③映画館、デパートなどの人の集まる場所での急病人④行倒れの人で病院に運ぶ必要があるとき⑤早く病院に運ばなければ生命に危険があるとき⑥められるとき⑦などです。家庭や職場で急病人やケガ人が出たとき、その人が早く処置する必要があるか、自家用車で運ぶ



公民館あんない

全市域に幅広い活動

地域に結びついた、いろいろな活動の中心となっている公民館。いま、前橋市内には市街地の中心部にある中央公民館と、上川淵公民館をはじめ十四の地区公民館(分館含む)があり、ここを中心に各種の学級や講座、地区行事などが行われています。このページはみなさんの公民館の施設と活動についてご案内してみよう。

中央公民館

大手町三丁目15-3、電話31局五七二。前橋駅から東武バス北前橋行で公園入口で下車、三分。

本館、別館の二つの建物があり本館が明治十八年三月、別館が明治四十三年九月に建てられ、旧名を「臨江閣」と呼ばれた市内有数の木造建築物。木造瓦葺き二階建て、本館・別館を合わせて建物の

大広間、相談室、茶室などがあり事前に予約申込みにより貸出しをしています。
——この中央公民館には、管理係、教育係、教育指導係がおかれ全市域を対象に、いろいろな活動が行われています。
まず、成人教育では中央家庭教育学級、しきしま家庭教育学級、中央婦人教室、明寿大学(高齢者教室)テレビ放送大学(文部省委嘱)成人学校(十三科目、十七教室)市民講座など。青少年を対象としたものでは、ジュニアリーダー講習、子ども会キャンプ、総

ちが学習しています。
芸術、文化教育では、中央公民館合唱団、前橋市民芸術祭、市民展、市民の茶席を催すなどの活動の場が提供されています。さらに市弁護士会の奉仕による毎週土曜日の法律相談、成人学級・婦人学級・高齢者学級の終了者を中心とした未明会、紫野会、七葉の会、しゃくなげ会、波の会、明寿大学同窓会などの団体育成もはかっています。これらの学級や講座は、全市域を対象とされ、学習生募集などは、それぞれ広報紙を通じてお知らせしているところです。

キャンプ講習、青少年グループ教室がひらかれます。また、町内の子ども会、婦人たちのみの会、若妻会などの団体育成、上川淵地区体育協力会、市民運動会の実施など、地区民一体となつての活動が続けられています。
昨年度中の公民館利用は百五十七回、のべ九千七百六十人となっています。

上川淵公民館

上北分館

中内町中之面五六〇、電話21局一九三。前橋駅から東武バス広瀬団地行山王下車、徒歩二十分。

対象区域は西善町、山王町、中内町、東善町。昭和三十五年四月一日、玉村町の一部(旧上陽村北部)を分割合併、上川淵地区に編入した農村地域。
公民館建物は昭和四十二年三月末に完成、木造平屋建て一三〇・五七平方メートル。ホール、調理室、和室など。分館となつたのは四十六年一月一日から。

——上北地区婦人を対象とした上北家庭教育学級、地区内の青年団活動、地区子ども会活動などをすすめる上北地区の中心施設として活用されています。

下川淵公民館

鶴光路町六五四、電話65局〇六五一。前橋駅から東武バス玉村行か新町行で鶴光路下車し徒歩三分。

対象区域は公田町、横手町、亀里町、鶴光路町、新堀町、下阿内町、力丸町、徳丸町、房丸町。昭和二十九年、旧下川淵村から前橋市へ合併。市の南端の純農村地帯でしたが、最近、力丸工業団地、農業流通センターができ、地域開発がすすんでいる地域。
公民館は四十八年三月完成、鉄骨ブロック二階建て、四二・三三平方メートル。集会室、ホール実習室、講義室が一階。二階に十

芳賀公民館

勝沢町七二五、電話32局四二五五。前橋駅から群馬バスの小坂子行で芳賀小前下車、徒歩三分。

対象区域は勝沢町、小神明町、端気町、五代町、鳥取町、小坂子町、嶺町、金丸町。昭和二十九年四月、旧芳賀村から前橋市へ合併した地域。純農村地帯から、住宅団地の造成等で変ばういじりしい地域。
公民館は昭和四十年五月に建て替えられ、木造平屋建て五四八・一二平方メートル。実習室、ホール、講習室、第一・第二・第三和室、図書室、小会議室があります。

——公民館事業としての公民館講座、若妻会家庭教育学級、高齢者学級として高砂大学、勤労青少年グループ教室、ジュニアリーダー講習、子ども会キャンプ講習を実施、青少年健全育成会、地区諸団体の育成、市民運動会の実施など公民館を中心の活動が活発にすすめられています。四十九年度中に三百五十回、のべ九千五百人が公民館を利用しています。

嶺分館

嶺町五五八、電話31局九八〇三(呼)。前橋駅から群馬バス嶺まわり田島行で嶺十字路下車、北へ徒歩五分。

対象区域は嶺町、金丸町。昭和二十九年四月、前橋市へ合併した純農村地域。
分館の建物は昭和二十四年四月建築の木造平屋建て一七四・九一平方メートル。ホール、調理室、洋間、和室などがあります。

——地区活動としては、高砂大学金丸教室のほか、芳賀公民館活動と協調して、地区振興がはかられています。

桂萱公民館

上泉町六六四、電話31局二六六七。上泉上泉駅下車、徒歩五分。

対象区域は三俣町、幸塚町、上沖町、下沖町、西片貝町、東片貝



桂萱公民館を利用して行われた母子健康相談を受けて帰るお母さんたち

町、上泉町、石関町、亀泉町、荻窪町、堀之下町、堤町、江木町。市の東北部、西は市街地と接し住宅化が進み、東北部と南部は農業地。昭和二十九年四月、旧桂萱村から前橋市へ合併した区域。
公民館建物は昭和四十二年三月に完成、木造平屋建て四六九・四〇平方メートル。ホール、実習室、和室二つ、図書室など。

——公民館事業では、上泉町婦人学級、桂萱小PTAを中心とした家庭教育学級、西片貝町家庭教育学級、高齢者対象の高砂大学、公民館講座がひらかれています。
さらに少年グループ教室、ジュニアリーダー講習、子ども会キャンプ講習、各種団体の育成、市民運動会をはじめバレーボール、少年野球、子ども水泳大会、ソフトボール大会など地区体育協会と協調した地域活動もすすめられています。
四十九年度中に三百一十一回、のべ二万一千九百人の人が公民館を利用しています。

東公民館

箱田町一、六四二、電話51局二五九八。新前橋駅から南東へ徒歩二十五分。

対象区域は後家町、箱田町、前箱田町、川曲町、稲荷新田町、大根町、下新田町、上新田町、朝日が丘町、光が丘町、小相木町、古市町、江田町。昭和二十九年四月、旧東村から市へ合併。市の西南端で高崎市と近隣した農業区域



東公民館 高齢者学級

以上対象の高齢者学級、地区一般を対象の公民館講座をはじめ青年グループ教室、ジュニアリーダー講習、子ども会キャンプ講習、ママさんバレー、男子ソフトボール大会、市民運動会、卓球大会、各種団体育成などの活動が公民館を中心に実施されています。
四十九年度中に二百八十六回、のべ二万三千五百人が公民館を利用しています。



よい子たちに手づくりの人形劇をと総社公民館を利用して練習に励むお母さんたち

元総社公民館

大友町三〇二、電話51局二二四三。前橋駅から群馬バス、中央バスのバス、經由高崎行で前橋警察署前下車七分。

対象区域は元総社町、大友町、大渡町、石倉町、鳥羽町。昭和二十九年四月、旧元総社村から前橋市へ合併した区域。工業団地の造成、

成、産業道路、パイパスなどによって市街地のいちじるしい区域。公民館は昭和四十七年四月に現在地に新築移転。木造二階建て四一・二二平方メートル、講堂、調理室、小和室が一階。二階には講義室、図書室、会議室が二つ。

——家庭教育学級、明寿大学、公民館講座、ジュニアリーダー講習、キャンプ講習、青年グループ教室、青少年指導者研修、団体育成、地区体育行事など公民館が中

上川淵公民館

上佐島町三八二一、電話65局〇四五五。前橋駅から東武バス玉村行または新町行で上川淵小学校入口下車、五分。

対象区域は上佐島町、棚島町、朝倉町、後閑町、下佐島町、宮地町、西善町、山王町、中内町、東善町。昭和二十九年に旧上川淵村と同三十五年に玉村町の一部旧上陽村北部を含め合併した地区。合併当時は農村地域でしたが、昭和三十五年に朝倉団地、四十二年から広瀬団地、四十五年には山王団地が造成され、農村部と住宅地の混成地区となっています。

公民館建物は四十二年五月、木造モルタル二階建てで建てられ、ホール、調理室、洋式会議室、十五畳・十二畳・十畳の和室、図書

旧上川淵村役場跡にある上川淵公民館



——公民館活動では、上川淵地区若妻会などの家庭教育学級、朝倉団地婦人学級、高齢者学級、公民館講座などの成人教育がすすめられ、青少年教育では各町の子ども会のジュニアリーダー講習、

合青年大学を実施、とくに総合青年大学では生産学部、青年学部、商業学部に分かれた講座で青年た

中央公民館利用は昭和四十九年中に千二百六十五回、のべ六万九千人にのぼりました。

総社公民館

総社町総社一、五九六、電話51局四九三三。前橋駅から群馬バス総社車庫行、県商工前下車、徒歩五分。

対象区域は総社町総社・高井・植野・桜が丘、問屋町一・二丁目。昭和二十九年四月、旧総社町から前橋市に合併。農業地域から工業団地、住宅団地の造成で進行している市街地周辺地区。

公民館は昭和四十六年三月に完成、木造二階建て四二四・四四平方メートル。一階は実習室、ホール、和室。二階は図書室、講義室、和室二部。——主婦のための料理講座、手芸講座、子どもたちの映画と人形劇のつどい、若い人たちの結婚医学講座など、集会所を中心として実施されています。

永明公民館

上大島町六〇六、電話61局〇四七一。前橋駅から東武バス新伊勢崎または桐生行、野中駐在所前下車、徒歩十分。

対象区域は天川大島町、上大島町、上長磯町、下長磯町、東上野町、女屋町、小島田町、野中町、駒形町。昭和三十年合併当時は農村地帯だったが、南西部に工業団地が造成され、年々都市化、住宅化されている区域。

公民館は昭和三十七年九月に新築、木造二階建て四七・〇五平方メートル。一階は講義室、実習室、図書室、二階は講座室、和室が三部屋。——永明小PTA会を中心とした家庭教育学級、高齢者教室高砂大学、公民館講座、地区内各子ども会リーダー講習、キャンプ講習、少年グループ教室などが実施されています。また、地区内の各種団体の育成、市民運動会、ソフ

桜が丘集会所

総社町桜が丘一、二〇八、電話51局七五二五。管理入宅上越線ぐんま総社駅下車十分。

対象区域は総社町桜が丘。住宅団地を中心として一部工場と農業地。集会所建物は昭和四十八年三月に完成、木造モルタル平屋建て一三二・五〇平方メートル。ホール、和室、管理室。——主婦のための料理講座、手芸講座、子どもたちの映画と人形劇のつどい、若い人たちの結婚医学講座など、集会所を中心として実施されています。

清里公民館

青梨子町三三九、電話51局九〇〇五。前橋駅から群馬バス桃泉・長岡行で清里小学校前下車、徒歩三分。

対象区域は池端町、上青梨子町、青梨子町、同前原、清野町。昭和三十年一月、旧清里村から前橋市へ合併。市の最西端の純農村地域で養蚕、養豚も盛んな地域。公民館建物は昭和四十五年三月新築、木造モルタル平屋建て、三六六・一二平方メートル。ホール、講座室、実習室、和室二部屋。——家庭教育学級、清里小PTAの家庭教育学級、高齢者対象の清里大学、公民館講座をはじめ、ジュニアリーダー講習会、少年グループ教室、キャンプ講習、ママさんバレー、青少年健全育成会、市民運動会、元旦マラソン、夏の盆踊り大会など、地域に結びついた行事も盛んです。



清里地区家庭教育学級の一コマ

南橋公民館

日輪寺町一五八、電話31局二三七六。前橋駅から東武バス南橋団地行終点下車、一分。

対象区域は上細井町、下細井町、北代田町、下小出町、竜蔵寺町、青柳町、南橋町、日輪寺町、川端町、田口町、関根町、荒牧町、上



ことし二月に建て替えられた南橋公民館

小出町、川原町。昭和二十九年九月、旧南橋村から合併した区域。旧農村地帯ですが、南部の市街地近接区域や国道十七号、赤城県道沿線は早くから都市化が進み、団地造成も盛んな区域。

公民館建物は昭和五十二年二月完成、鉄骨造り二階建て五九八・五平方メートル。一階には実習室、図書室、集会所があり、二階は講義室、和室二部屋、印刷室など。——桃川家庭教育学級、高砂大学南橋つき家庭教育学級、高砂大学南橋

教室、公民館講座などの成人教育をはじめ、青年グループ教室、子ども会キャンプ講習、ジュニアリーダー講習などの青少年教育、各種団体の育成、地区民こぞの市民運動会も実施されています。四十九年度中の公民館利用は百三十回、のべ一万二千人にのぼっています。

城南公民館

二之宮町一、三二〇、電話68局二二一四。前橋駅から東武バス桐生行、新伊勢崎行、二之宮行で山中下車、徒歩二分。

対象区域は下大屋町、泉沢町、富田町、荒川町、荒子町、西大室町、東大室町、飯土井町、新井町、二之宮町、今井町、筑井町、小屋原町、上増田町、下増田町、下大島町。昭和四十二年五月、勢多郡城南村から市へ合併した区域。荒低地区は農業就業率六割強の農村型、木部地区は地域開発の影響も強く専業農家は減少傾向。農業基盤整備事業などが当面の関心事。公民館建物は昭和三十五年十二月、旧城南村役場としてつくられ鉄筋コンクリート二階建て四六九平方メートル。一階は支所、二階は和室会議室、講堂などで公民館活動に使用。

——水曜講座、いずみ学級、すみれ学級、わかば学級、明寿大学



城南地区はママさんバレーが盛ん

をはじめ、ジュニアリーダー講習、キャンプ講習、青年グループ講習などを実施。体育行事も盛んで、千五百人参加の市民運動会、バレーボール大会、水泳大会、絵画展と人形劇のつどいも地区行事として好評でした。四十九年度中の公民館利用は二百六十六回、のべ九千三百六十人にのぼっています。

国勢調査人口

前回(45年)より一万六千人の増

1世帯当り3.5人に

さる十月一日現在で全国いっせに行われた「国勢調査」の結果が発表されました。それによると十月一日現在の本市の人口は二十五万四千一百一十一人(男十二万一千四百八十八人、女十二万八千七百五十三人)で、前回(四十五年)の国勢調査の時よりも一万六千六百九十九人(七・一%)の増加。世帯数は七万九千五百五十七世帯で、これも前回より九千三百七十五世帯(一五・二%)の増加となっています。一帯帯当たりの人口は三・五人で前回調査の三・八人より〇・三人減少しています。

人口の増加では、旧市域が八万五千八百九十一人、新市域が十六万四千三百五十九人で、この五年間に旧市域が一万一千二百二人(一・一六%)減り、逆に新市域が二万七千八百人(二〇・四%)増えています。

この五年間に人口が最も増えたのは上川地区の八千八百人、次に南橋地区が五千五百六十人、東地区が四千六百六十人、桂萱地区が四千四百人の増加となっています。

人口の増加は、旧市域が八万五千八百九十一人、新市域が十六万四千三百五十九人で、この五年間に旧市域が一万一千二百二人(一・一六%)減り、逆に新市域が二万七千八百人(二〇・四%)増えています。

いづれも市街地周辺地域で、上川地区では広瀬団地などの住宅団地入居が人口増の要因にあげられるようです。世帯数でも旧市域が前回調査より三千九百九十九世帯(三・八%)減ったのに対し、新市域は逆に一万四千四百四十四世帯(三〇・六%)増えています。世帯数の年平均増加は千八百七十三世帯でした。

また、市では国勢調査による市人口の予想集計をまとめたが、応募総数三百三十七通のなかで、的中者がなく、比較的近い数字を予想していた次の次がたがに、賞金をお贈りしました。

今井秀男(三保町) 中島フジ江(石倉町) 大塚英雄(荒牧町) 高橋正江(稲荷新田町) 高野忠男(大根町) 鎌田英子(石倉町) 深町勲(荒子町) 町田佳一(昭和町三丁目) 水島三郎(六供町) 高橋藤郎(元総社町) さんの十人。

また、清里地区では十月二十三日に清里公民館に自治会長ほか各種団体の役員七十人が集まり、この問題を話し合い、全員一致で簡素化を推進することを決めました。各自自治会では、10月中旬に町内へ原案を持ち帰って協議、11月1日から地区全体で実施へ踏み出しました。地区自治会連合会、推進委員会名で町民全員にチラシを配りお返し辞退のゴム印を作成するなど、積極的に進められています。

このほか、利根西では総社・東地区でも、一部町内ではすでに実施、全地区での推進も間近のことでしょう。

新生活運動シリーズ ⑩

冠婚葬祭簡素化”お返し辞退”運動
元総社・清里でも実施
東、総社も取り決めの動き



清里地区で全町民にくばったチラシ

冠婚葬祭簡素化、お返し辞退運動が市内各地で急速にひろがり実施に移されていますが、このたび10月1日から元総社・清里地区全域で実践することが決められました。

元総社地区では、9月中旬、同地区十二町内の自治会長が公民館に集まり、この運動を全地区で実施に移すための話し合いを持ちました。原案では①弔問は名刺を原則とし、香典をつつむ場合は千円。②お返しは一切しない③自治会に備えてある香典袋を使用④会葬御礼は札状だけ⑤病氣見舞なども極力簡素化をする⑥一などを決め、地元へ持ち帰って町内各戸の話し合いを持ちました。

30、60代の人対象
トレーニング
講習会

温水プール・トレーニングセンターでは、30代から60代までの人たちに対象に、トレーニング講習会をひらきます。

講習期間は51年1月12日から3月29日までの毎週月・金曜日で、あさ10時から正午までの2時間。受講料は二千元、定員は先着三十人まで。申し込みは、11月16日から24日までの午前10時から午後5時まで、火曜日は休み。

講習内容は、マッパ運動、ゲーム、ハイキングなども含めた屋外トレーニングなど。詳しくは温水プール・トレーニングセンター(電話33局一四九六・31局九八三八)へお問い合わせを。

児童文化センター
だより

月曜の午後と火曜
祝日は休みです。
電話24局2548

小学校一・三年生とその親三十組六十人。教師は中川小学校教諭、杉本寿男さん。当日は、はがきの大きな画用紙十枚、水彩えのぐ用具一式、クレパス、サインペン、はさみ、ばら布、エプロンを用意してください。

受講希望者は十一月二十三日(日)から受け付けますから、電話または直接来館して申し込んでください。

【気象教室】天気予報の仕組みと天気図の書き方・見方を覚えよう十一月三十日(日) 午前九時から午後三時三十分まで。対象は小学校五年生以上中学生まで四十人。講師は前橋地方気象台調査官、小島貞八郎さん、技術専門官、茂木和夫さん。費用は教材費・テキスト代三百円、天気図一枚につき七円が必要(当日用意)。当日は筆記用具(鉛筆、色鉛筆、ボールペン)を用意してください。

受講希望者は十一月二十三日(日)から受け付けますから、電話または直接来館して申し込んでください。

【児童文化センター合唱団第七期生募集】対象は小学校三年生十五人、四年生十五人で合計三十人。受講料は無料。ただし、テキスト代などは個人負担です。申込期間は十二月七日(日)から十三日(土)まで。なお、応募者多数の場合は十二月十四日午前十時から抽選を行いますから必ず出席してください。

オリエンテーションを十二月二十一日(日)午前十一時から視聴覚室で行います。

【親子造形教室】美しい年賀状のつくり方十一月三十日(日) 午後一時三十分から三時三十分まで。対象は十分から三十分まで。対象は

前橋子ども会
絵画・書道展

前橋市子ども会育成団体連絡協議会、市教育委員会共催の、第十一回前橋市子ども会絵画・書道展を、十一月二十二・二十三・二十四の三日間、中央公民館でひらきます。子ども会の会員が、活動の中でいっしょにうけい創作した作品です。みなさんでご覧ください。

なお、二十四日の午後には、前橋市子ども会育成大会がひらかれ、優良子ども会・功労者の表彰と講演があります。

(29)

戸外で遊んでいます。おしゃべりがとても達者。わが家の宝です。

		日		曜		祝		日		当		番		医		表					
月	日	週		内				科		外		科		婦人科		耳鼻科		眠科		齒科	
12	7	第1日曜	川上三郎 朝倉町二丁目 63-1863 内児	佐藤進一 城東町一丁目 31-4019 内児	岸昌男 本町一丁目 21-0081 内	堺堀四郎 若宮町一丁目 31-8056 内	岩内省三 本町三丁目 24-5265 整	阿久沢利雄 天川大島町 63-1228 外	秋草美俊 日吉町三丁目 31-8433	村上三郎 千代田町三丁目 31-3665	青木豊 住吉町二丁目 31-3707	齒科医師会館 岩神町二丁目29 32-2046 日・祝日の齒科 診療はここで行 っています。									
	14	第2日曜	桑島茂夫 城東町四丁目 31-0080 児	後藤忠夫 若宮町三丁目 33-4737 内	斎藤喜雄 朝日町四丁目 24-7134 内児	沢渡岩夫 紅雲町二丁目 21-4608 内	内田源次 西片貝町 24-5061 外整	金井英吉 平和町一丁目 31-0203 外	井上理 若宮町二丁目 31-1711	岡文夫 元総社町 51-2751	大山みつ 高崎市浜川町 43-6036										
	21	第3日曜	海津寛 大手町二丁目 21-3236 内児	直田靖彦 光ヶ丘町 51-5622 内児	岩神内科 岩神町三丁目 31-1205 内	斎藤登 南町二丁目 21-0258 内	狩野好一郎 北代田町 31-7025 外	大島和二 荒牧町 31-3711 外整	宇上英明 大手町三丁目 31-7351	矢部寛 大手町三丁目 31-3524	須田要 本町一丁目 21-1052										
月	28	第4日曜	斎藤浩 小出町 31-1069 内児	関昌夫 天川大島町 24-4680 内	塩崎登 文京町三丁目 21-8063 内	佐々木国子 昭和町二丁目 31-2016 児	掛川富士夫 総社町 50-0415 外	石坂一郎 三保町 33-4808 外整	太原実 千代田町一丁目 31-3307	田口賢 表町二丁目 24-3424	森平眼科 高崎市上中居町 27-1585										

58

自分が子どもでみた世界は
山山だってこんなにみすばらし
く低くはなかった
何もかもうつくしかった
（「故郷にかえった時」）

遠いふるさととの
その初冬をおもひだして
自分は郊外にきてみた

父のふるさとがどちらにあるの
そのゆくさきさきでうまれる子
ども達は
その方角さへも知らないのだ

歳であった。

前出の「ふるさと」と詩を刻ん
だ石碑が前橋市内に建った。昭和
五十年四月十八日。利根川の西岸
中央大橋の畔。碑面は群馬町を向
き、利根川をはさんで東には市街
地がみえる。東照宮、前橋公園の
樹木のかげで聖マツチャ教会はみ
えない。晴れた日には赤城・榛名
そして利根川がよくうつる。いま、
前橋の秋は暮鳥の詩碑を紅葉の中
にぬりこめて行く。

【写真・ことし4月18日、利根川
西河畔に建てられた暮鳥詩碑】